

令和 6 年度事業報告書

(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日)

社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

事業部門

I 盲導犬貸与事業

2024 年 12 月～2025 年 1 月に神戸市在住の女性の共同訓練を実施したが、貸与希望者のご都合により中断となった。

2025 年 3 月に岡山市在住の女性の共同訓練を実施し、3 月 27 日に盲導犬として認定した。

II 社会参加訓練事業

盲導犬使用者及び使用予定者に対する歩行、及び視覚障がい者が社会に参加するため、次の訓練を行った。

- ① 盲導犬貸与希望の問い合わせが 7 件あり、内 2 件の自宅面接を行った。
- ② 盲導犬使用者のフォローアップとして 11 名、延べ 60 回の歩行訓練指導及び相談を行った。

III 盲導犬育成事業

盲導犬を育成するために、次の事業を行った。

① 繁殖

盲導犬候補犬及び繁殖犬確保の為、繁殖事業において協力関係の AGBN(ASIA GUIDE DOGS BREEDING NETWORK)実務者会議に参加し、国内外の盲導犬育成施設及び優良な犬を保有するブリーダーとの交流を行った。

盲導犬候補犬として、当協会で生まれたパピー18 頭(交配件数は 2 回、内 2 回出産し、18 頭出産)、並びに他協会繁殖犬との交配によりパピー3 頭を確保した。

② パピーの育成

令和 6 年度は、23 頭の子犬をパピーウォーカーに委託し、14 頭の子犬の委託を修了した。パピーウォーカーに対して、訪問・来所指導を計 123 回、パピースクールを 5 回行い、伴わせて電話での指導を行った。

③ 盲導犬候補犬の訓練

盲導犬候補犬の訓練において稟性・健康評価ならびに定期的な訓練評価を実施し、適性のある犬に対し候補犬の訓練を行った。

④ キャリアチェンジ犬

広告媒体などを積極的に活用し、キャリアチェンジ犬譲渡希望者を継続的に募集確保に

努め、キャリアチェンジ犬 14 頭を譲渡した。

⑤ リタイア犬

広告媒体などを積極的に活用し、リタイア犬譲渡希望者を継続的に募集確保に努め、リタイア犬 2 頭を譲渡した。

犬舎状況(令和 7 年 3 月末時点)

実働盲導犬 11 頭/ 累計 75 頭

協会所有犬	頭数
訓練犬	3
繁殖犬	10
パピーウォーカー委託中	12
パピーウォーカー委託前	9
PR 犬	3
その他 (キャリアチェンジ、リタイア待ち)	6
合 計	43

譲渡犬	今期頭数	累計頭数
リタイア犬	2	143
キャリアチェンジ犬	15	252

IV 盲導犬歩行指導員、盲導犬訓練士および職員の研修

- ① 連合会職員相互研修会が 5 回開催され、現地又はオンラインで参加した。
- ② 関西盲導犬協会より歩行指導員・訓練士が来所、当協会職員と訓練に関する相互研修を行った。また、九州盲導犬協会に赴き、犬舎・訓練マネジメント研修を受けた。
- ③ 神戸ロイヤルグルーミング学院動物行動学講義を 2 名の職員が計 6 回受講した。
- ④ テリントンタッチに関する社内研修を 1 回行った。

V 盲導犬啓発普及事業

盲導犬の必要性について社会全般への啓発を図り、盲導犬育成を推進するため、次の事業を行った。

- ① 盲導犬希望に関する問い合わせが 7 件あり、その内 2 名に対して、自宅面接を実施した。盲導犬貸与希望者を募るとともに広報誌「ワンダフル通信」の音声版の継続発行を通して、盲導犬に関する情報提供を行った。

- ② 今年度も盲導犬と視覚障害についての理解を深めるため、下記の各種イベント活動、見学会、学校講演、一般講演等の啓発をおこなった。

イベント活動	計	51 回(前年 62 回)
施設見学会	計	5 回(前年 2 回)
特別見学会	計	7 回(前年 10 回)
学校講演	計	67 回(前年 76 回)(神戸市 49 校、その他 18 校)
一般講演	計	5 回(前年 11 回)

資料(啓発パネル・DVD)の貸出し回数 5 回

- ③ 街頭募金活動

姫路、西神、名谷、大丸前、三宮などで計 26 回実施し、PR 犬とのふれ合いやチラシ配布を行い盲導犬の啓発に努めた。

- ④ 広報誌「ワンダフル通信」を年 2 回(4 月・10 月)発行し、視覚障がい者向けの音声版も発行した。また、ホームページの更新を随時行い、協会のイベント情報やその他の活動情報を発信した。

- ⑤ 盲導犬チャリティーグッズの新商品開発を行い、啓発活動で紹介し寄付を募った。(新クリアファイル、トレーナー、マグカップ、アクリルキーホルダー)

- ⑥ 新聞・ラジオ等の取材機会を積極的に設け、ネットや紙面記事となるよう努めた。
SNS では、Facebook 177 回、インスタグラム 167 回の情報発信を積極的に行った。
また、9 月からのクラウドファンディングの期間中、神戸新聞とネットニュースに掲載され反響を得た。

- ⑦ 「第 22 回国際盲導犬デー in 神戸」を 4 月 29 日に兵庫区湊川公園で開催、慰霊祭も併せて開催した。

VI 関係団体協力事業

- ① 国際盲導犬連盟の正会員として、施設環境を常に国際レベルの基準に保つよう、定期的に見直し・修繕を行うよう努めた。
また、国際盲導犬連盟査察官が来所、2024 年 10 月 9～11 日に査察が行われ、連盟加盟条件が満たされていることが証明された。次回査察は 2029 年に予定されている。
- ② 認定 NPO 法人全国盲導犬施設連合会、AGBN、その他補助犬団体との相互協力を行った。

Ⅶ 相談事業

- ① 盲導犬ユーザーからの相談や苦情、一般市民からの盲導犬に関する相談や苦情に対して、迅速に対応した。

管理部門

(1) 個人会員・団体会員の増強

広報誌「ワンダフル通信」を通じて情報発信を行い、盲導犬育成事業への継続的な支援をお願いするとともに、安定的な事業運営の為、イベントや講演、クラウドファンディング等で新規会員入会の働きかけを行った。

新規会員数 23 名

(2) 寄付支援者の増強

ご寄付いただく新たな方法であるクレジットカード決済を継続的に行い、定着しつつある。1000 円～10000 円の金額を用意した他、マンスリー会員(500 円、1000 円)にも登録でき、好きな時にご寄付いただけるようになった。

(3) 募金箱設置先の拡大

新規募金箱設置件数	21 件
募金箱交換件数	1,338 件

(4) 街頭募金、イベント募金の定期的実施

○協会募金活動ボランティア、高等学校やライオンズクラブの協力を得て、街頭募金活動を行った。(実施回数 27 回 金額 145 万円)

○ライオンズクラブ、支援団体、支援企業、行政等主催のイベントに参加させていただき募金活動を行った。(実施回数 50 回 金額 218 万円)

(5) 自動販売機設置の拡大

新規自動販売機件数	4 件
自動販売機設置件数	42 件(令和 7 年 3 月 31 日現在)

(6) クラウドファンディング挑戦

盲導犬を育成する目的で 9 月 1 日～10 月 31 日(61 日間)まで READYFOR のサービスを使いクラウドファンディングを行い、目標の 500 万円に対して 537.3 万円を達成することができた。また新たな支援者も全国で 159 名増えた。

(7) ボランティアの養成

盲導犬育成事業への支援ボランティア(事務、イベント関係及び環境整備)の確保とスケジュール管理のためにグループウェア(ラインワークス)を活用した。

(8) その他、目的を達成するために会議を行った。

毎月、全体会議、貸与委員会会議を行った。

毎月、事務局会議、犬舎連絡会を開催し、効率的な組織運営や資金獲得に向けて職員の相互理解、意識を高めて目的に向けて活動するよう努めた。

それ以外にも随時、CC 犬、R 犬譲渡委員会会議、医療費助成検討会議、助成金ミーティングを行った。

(9) 職員のスキルアップや技術の向上を図るための研修に参加

- | | |
|-----------------------|-----------|
| ◦ 経営計画策定ゼミナール | 5 名・計 5 回 |
| ◦ 同行援護研修 | 2 名・計 8 回 |
| ◦ 視覚障がい者リハビリテーション基礎講習 | 2 名・計 6 回 |
| ◦ 身体障害者補助犬訓練者研修 | 2 名・計 3 回 |

施設整備

1. 委託業者による消防設備の点検を 7 月と 1 月の 2 回行った。また、1 月 19 日に防災に関する勉強会を行ない、3 月 26 日に自主消防訓練を実施した。

2. ボランティアの協力を得て、定期的にドックランや協会周辺の草刈りを行ない、環境美化と犬たちの安全な訓練のための環境整備をおこなった。

更に下記の助成金を活用し環境整備や各種備品を購入した。

- | | |
|--------------|--|
| ◦ 神戸やまぶき財団後期 | 犬舎棟 2 階共同訓練用浴室、洗面化粧台改修工事
149.6 万円、内助成金 109 万円 |
| ◦ 兵庫県共同募金会 | 犬舎衛生環境整備のための備品購入(洗濯機、掃除機等)
28.8 万円、内助成金 23 万円 |
| ◦ 自己資金 | ジャバラ門扉改修工事 60.8 万円 |